

機関投資家・アナリスト様向け決算説明会

---

# 2015年3月期 決算および今後の成長戦略

2015年5月20日(水)

# 資料構成

- 2015年3月期 決算の状況
- 第11次中期経営計画の進捗状況
- 2016年3月期 事業計画
- 2016年3月期 業績見通し(連結/セグメント別)

# 資料構成

- 2015年3月期 決算の状況
- 第11次中期経営計画の進捗状況
- 2016年3月期 事業計画
- 2016年3月期 業績見通し(連結/セグメント別)

# 連結損益計算書サマリー

売上から最終利益まで前年を上回る結果に

(百万円)

	14/3実績	15/3実績	対前期比	15/3予想	対予想比
売上高	42,508	43,925	+3.3%	44,000	△0.2%
営業利益	3,505	3,571	+1.9%	3,600	△0.8%
経常利益	3,382	3,446	+1.9%	3,500	△1.5%
当期純利益	1,642	2,463	+50.0%	2,900	△15.1%
EPS (円)	81.66	123.03	—	145.30	—
ROE (%)	10.1	13.4	—	—	—

- 株式会社アスクレップの一部事業譲渡に関する関係会社株式売却益として2,911百万円の特別利益を計上
- INTAGE VIETNAM LIMITED LIABILITY COMPANYに関するのれんの減損損失として564百万円の特別損失を計上

# 連結貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書サマリー

(百万円)

連結貸借対照表要旨	14/3	15/3	増 減	摘 要
流動資産	21,726	21,560	△165	主に「受取手形及び売掛金」「仕掛品」の減少
固定資産	12,013	11,740	△272	主に「のれん」の減少
資産合計	33,740	33,301	△438	
流動負債	12,681	10,042	△2,639	主に「短期借入金」の減少
固定負債	3,886	3,342	△544	主に「長期借入金」の減少
負債合計	16,568	13,384	△3,183	
株主資本合計	16,497	18,489	+1,991	主に「利益剰余金」の増加
その他の包括利益累計額合計	527	1,249	+722	主に「為替換算調整勘定」の増加、「退職給付に係る調整累計額」の計上
少数株主持分	146	178	+32	
純資産合計	17,171	19,917	+2,745	
連結キャッシュ・フロー計算書要旨	14/3	15/3	増 減	摘 要
営業キャッシュ・フロー	3,612	2,947	△665	主に「特別退職金の支払額」「法人税等の支払額」の増加
投資キャッシュ・フロー	△1,151	2,327	+3,479	主に「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入」の計上
財務キャッシュ・フロー	△592	△4,940	△4,348	主に「長期借入金の返済による支出」の計上
現金及び現金同等物に係る換算差額	152	105	△46	
現金及び現金同等物の増減額	2,020	439	△1,580	
現金及び現金同等物の期首残高	5,906	7,926	+2,020	
現金及び現金同等物の期末残高	7,926	8,366	+439	

# セグメント別売上高の状況

(億円)

	14/3実績	15/3実績	前年同期比 増減率
■ 市場調査・コンサルティング	305.7	343.4	+12.3%
(パネル調査)	165.8	173.5	+4.6%
(カスタムリサーチ)	139.8	169.8	+21.5%
■ システムソリューション	56.6	55.5	△1.8%
■ 医薬品開発支援	62.7	40.2	△35.9%
合計	425.0	439.2	+3.3%

- パネル: インテージ(SCI、i-SSP)・JMIRI(処方情報分析サービス)が堅調に推移
- カスタムR: WEBはアンテリオ(ヘルスケア系)の案件数増加が貢献、  
既存はインテージのFMCG系、インテージリサーチの官公庁案件が好調
- 前期は高採算な大型案件があったため微減だが、全体としては好調
- 事業譲渡による売上減はあるものの、継続事業は大きく伸長

# セグメント別営業利益の状況

(億円)

	14/3実績	15/3実績	前年同期比 増減率
■ 市場調査・コンサルティング	30.2	30.7	+1.6%
■ システムソリューション	4.8	4.9	+1.9%
■ 医薬品開発支援	△0.05	0.01	—
合計	35.0	35.7	+1.9%

- パネル調査の売上拡大に伴い増加  
(特にパネルデータをベースとしたプロモーション支援サービスが貢献)
- INTAGE CHINAは事業の再構築が順調に進み、損失縮小
- 受注が好調だったことにより前年並みをキープ
- EDCシステムの売上増加が貢献し良化

※ EDC(Electronic Data Capturing)システム = 電子的臨床データ収集システム

# 資料構成

- 2015年3月期 決算の状況
- **第11次中期経営計画の進捗状況**
- 2016年3月期 事業計画
- 2016年3月期 業績見通し(連結/セグメント別)



# 第11次中期経営計画



【基本方針】

**“リノベーション&イノベーション”**  
「生活者理解」を最大の武器に、更なる成長加速へ

【原点=行動原則】

**生活者起点、  
そして情報への徹底的なこだわり**



# 第11次中期経営計画【重点課題】

巻き返し

**主力事業の再強化による市場価値向上**

結 実

**モバイル&シングルソース、グローバル、ヘルスケア  
領域の着実な成長**

挑戦&創造

**「リサーチ」の枠にとらわれない、新たなビジネスモデル  
の模索と確立**

加 速

**最適化の視点による戦略立案・推進のマネジメント  
強化**

# 第11次中期経営計画の進捗状況 (2014年4月～2015年3月)

重点課題	成果・課題
<p><b>巻き返し</b></p> <p>主力事業の再強化による市場価値向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ パネル調査は一部に成長鈍化がみられるものの、生鮮・惣菜データの追加など市場価値向上への取組みを実施。また、競合からの顧客奪還が進み、巻き返しに成功</li> <li>✓ カスタムリサーチは既存型は堅調な一方、ネットリサーチについては子会社によって明暗が分かれる結果に</li> </ul>
<p><b>結実</b></p> <p>モバイル&amp;シングルソース、グローバル、ヘルスケア領域の着実な成長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ モバイル&amp;シングルソースは、インテージの重点領域であるメディアコミュニケーション事業において新サービスを順次リリース。i-SSPなど独自データをベースとしたサービスに対する市場の期待は高い</li> <li>✓ グローバルはリサーチソリューションの海外展開も進み、対前年比では良化しているものの、トータルでの黒字化は達成ならず</li> <li>✓ ヘルスケアはアスクレップの一部事業譲渡を実施。EDCの拡販により計画を大幅達成</li> </ul>
<p><b>挑戦&amp;創造</b></p> <p>「リサーチ」の枠にとらわれない、新たなビジネスモデルの模索と確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 【HD】京都大学発ベンチャー(株)京都コンステラ・テクノロジーズと資本・業務提携を実施</li> <li>✓ 【ITG】米ニールセンと小売店パネル調査における相互販売パートナーシップ契約を締結</li> <li>✓ 【テクノスフィア】(株)クロスコンパスと業務提携。人工知能情報処理技術を活用した企業向けのサービスの提供へ</li> </ul>
<p><b>加速</b></p> <p>最適化の視点による戦略立案・推進のマネジメント強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ グループフォーメーションの見直しを実施。より一層の機能集約および専門性強化へ</li> </ul>

# 資料構成

- 2015年3月期 決算の状況
- 第11次中期経営計画の進捗状況
- **2016年3月期 事業計画**
- 2016年3月期 業績見通し(連結/セグメント別)

# 2016年3月期インテージグループ事業計画

## グループ基本方針

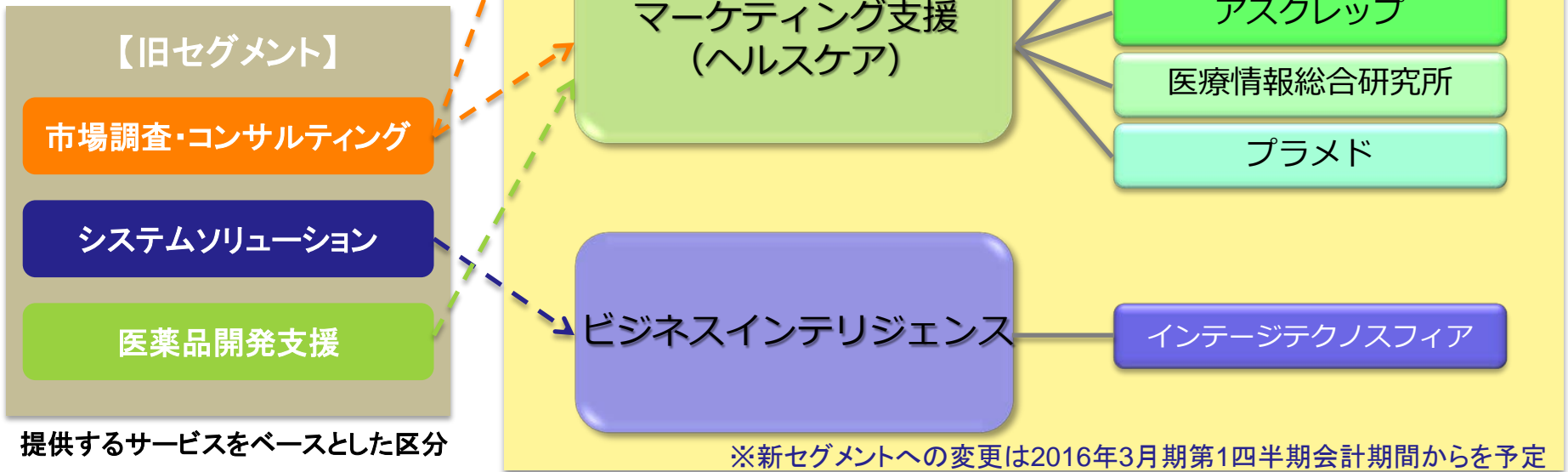
リノベーション & イノベーションの更なる加速

## 戦略ポイント

- 新セグメントの導入
- グループフォーメーションの再編
- グループ成長実現のための戦略的投資
- 海外事業トータルでの黒字化、ガバナンス強化
- メディアコミュニケーション事業の着実な成長

# 新セグメントの導入

【新セグメント】 業界軸 × サービス軸をベースとした区分へ



# グループフォーメーションの再編

## マーケティング支援 (消費財・サービス)

事業会社インテージはこの領域に資源を集中  
リサーチ事業の再強化を図るとともに、コミュニケーション事業の拡張を進める。また、インテージコンサルティングの設立により、顧客経営層へのアプローチを活発化させる

## マーケティング支援 (ヘルスケア)

インテージが提供してきたSDIなどのOTC関連領域サービスをアンテリオへ移管  
当社グループが保有するOTC・Rx両方にわたる専門人材と有力コンテンツを集約し、「患者を最もよく知る企業」としての地位確立を目指す

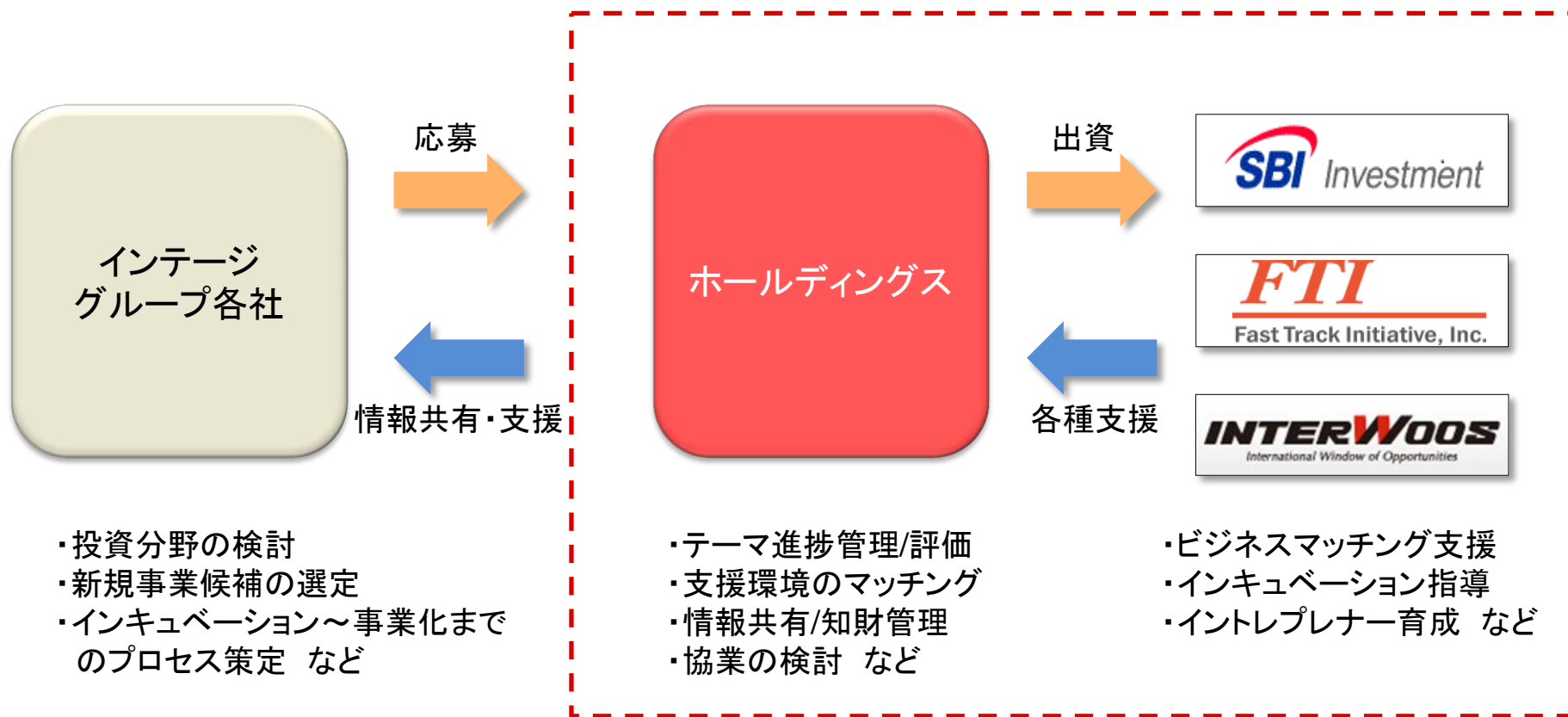
## ビジネスインテリジェンス

インテージが提供してきたFMCG領域、DCG領域、医薬・健康情報領域のITソリューションサービスをインテージテクノスフィアへ移管  
「ビジネスインテリジェンス事業総体での戦略立案」、「先進的なIT力の徹底的な向上」を最優先に競合優位性の確立を目指す



# グループ成長実現のための戦略的投資

「ヘルスケア」「海外」「ビジネスインテリジェンス領域」に重点を置いた、ベンチャーファンドを活用したインキュベーションを推進  
グループ各社とのシナジーが期待される成長性、新規性の高い有望ベンチャー企業への出資をおこない、ビジネス機会の創出を目論む





# 海外事業トータルでの黒字化、ガバナンス強化

各国の事情に応じた戦略の立案・強化をおこなうとともに、ソリューション・顧客情報及び資産、人材などの共有化をさらに推進していく

## 海外事業競争力の基盤整備

- ◆ グローバルソリューションの本格稼働
- ◆ モバイルテクノロジーを駆使した新商品開発
- ◆ 地域を横断した自主企画調査の実施

## 現地法人の営業力強化

- ◆ 各現法主催セミナーをトリガーとした日系顧客の開拓
- ◆ 自動車・通信・流通などハイポテンシャル業界の深耕
- ◆ 駐在員の増員

## 持続的事業成長の担保

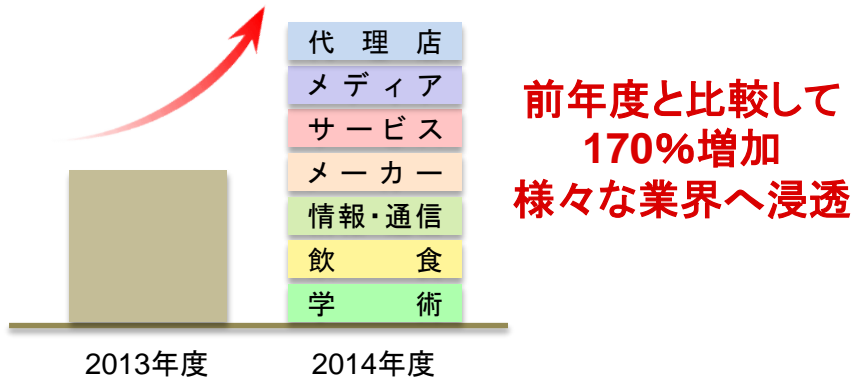
- ◆ 海外事業人材の育成
- ◆ 日本人駐在員が不在の地域へ日本人マネジメントを派遣
- ◆ ガバナンスの徹底
- ◆ 新規事業領域との連携模索

	売上高	営業利益
16/3(計画)	39.8億円	1億円
15/3(実績)	35.9億円	△1.7億円

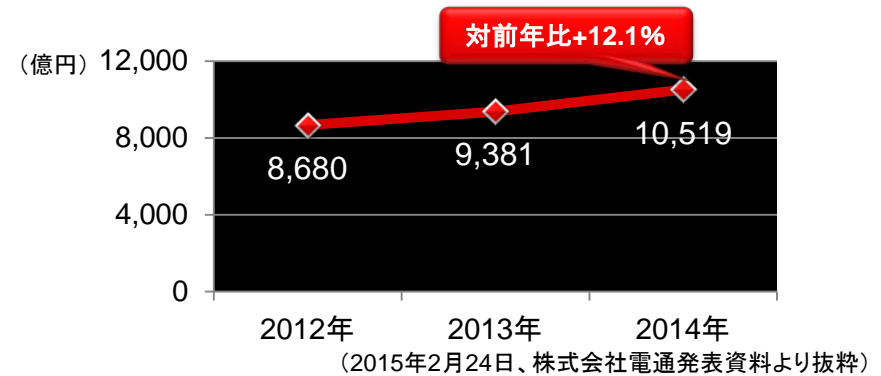
(注)売上高、営業利益ともに在外子会社の計画および実績数値を単純合算したものであります

# メディアコミュニケーション事業の着実な成長

## 【i-SSP利用顧客数の状況】



## インターネット広告費は1兆519億円に拡大



i-SSPをベースとしたソリューションツールや付帯サービスを続々と展開



VOIS Plus3



消費者インサイトツール

インターネット広告市場において、当社グループが保有するデータ(種類・量・質)やリサーチメニューの優位性を最大活用したサービスを展開することにより、クロスメディア・クロスプラットフォームの測定・提供およびその周辺領域を対象とする「コミュニケーション事業」のさらなる拡張を目指す

# メディアコミュニケーション事業の着実な成長

日本のクロスプラットフォーム領域における新たな広告効果測定ソリューション  
開発を目指し、「株式会社インテージ・ニールセン デジタルメトリクス」を設立

ニールセン

世界最大の  
デジタル広告視聴率調査  
Digital Ad Ratings



インテージ

同一個人から複数種類の  
データを収集・トラッキング  
SCI / i-SSP

両社のソリューションをベースにした商品開発

インテージ・ニールセン デジタルメトリクス

デジタル広告のリーチを商品ブランド所有状況や商品購買意向、ライフスタイル、地域属性などの豊富な切り口で分析する新サービスや、デジタル広告の購買行動に対するインパクトやブランドスイッチ動向を分析するサービスなどを提供

# 資料構成

- 2015年3月期 決算の状況
- 第11次中期経営計画の進捗状況
- 2016年3月期 事業計画
- **2016年3月期 業績見通し(連結/セグメント別)**

# 2016年3月期見通し(連結/セグメント別)

## 新セグメント区分による見通し

(単位:百万円)

			15/3期実績	16/3期予想	対前期比
■ マーケティング支援 (消費財・サービス)	売上高		28,963	30,800	+6.3%
	営業利益		1,916	1,980	+3.3%
■ マーケティング支援 (ヘルスケア)	売上高		9,404	9,700	+3.1%
	営業利益		1,155	1,358	+17.5%
■ ビジネスインテリジェンス	売上高		5,557	5,500	△1.0%
	営業利益		499	462	△7.5%
連 結	売上高		43,925	46,000	+4.7%
	営業利益		3,571	3,800	+6.4%
	経常利益		3,446	3,770	+9.4%
	当期純利益		2,463	2,400	△2.6%

※「当期純利益」は16/3期より「親会社株主に帰属する当期純利益」に科目名が変更になります

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

# 利益配分について

- 当社は、連結業績をベースに、配当と内部留保のバランスを考慮した利益配分を行うことを基本的な考え方としております。
- 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけております。

	1株当たり 期末配当金 (円 銭)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (連結) (%)
15年 3月期	30 00	24.5	3.3
16年 3月期(予想)	32 50	27.2	—



株式会社 インテージ ホールディングス

[www.intageholdings.co.jp/](http://www.intageholdings.co.jp/)